

第5回新潟県高等学校ボランティア大会

(第32回新潟県高等学校総合文化祭ボランティア部門) 開催要項

- 1 目的 県内高等学校でボランティア活動を行っている部・同好会等が集う場を持ち、互いに交流を深めると共に、情報交換、研修を通じて、各生徒の意欲や資質の向上を図り、各校でのボランティア活動の充実と共生社会の実現に資することを目的として開催する。
- 2 主催 新潟県高等学校文化連盟
- 3 共催 新潟県教育委員会
- 4 主管 新潟県高等学校文化連盟ボランティア専門部
- 5 後援 (社福)新潟県社会福祉協議会、日本赤十字社新潟県支部、
(社福)新潟県身体障害者団体連合会、(社福)新潟県視覚障害者福祉協会、
長岡市教育委員会、新潟県高等学校長協会、新潟日報社、朝日新聞新潟総局、
読売新聞新潟支局、毎日新聞新潟支局、NHK新潟放送局、BSN新潟放送、N
S T、
TeNY テレビ新潟、UX新潟テレビ21、エフエムラジオ新潟、FM PORT
- 6 日時 平成30(2018)年11月6日(火)10時30分～16時
- 7 会場 シティーホールプラザ・アオーレ長岡 市民交流ホールA(第二部はホールBC)
〒940-8501 長岡市大手通1-4-10
* JR信越線・長岡駅大手口より徒歩3分
- 8 内容・日程
10:00～10:30 受付
10:30～12:00 第一部 活動発表会
開会式(主催者挨拶、来賓祝辞、等)
全国総文報告
各校の活動発表
12:00～13:00 昼食・休憩・移動(三階ホールBCへ)
13:00～14:00 第二部 交流会
14:00～14:15 会場移動(一階ホールAへ)
14:15～15:45 第三部 記念講演会
演題「ボランティアが障害者をつくる?!～思いやりの危うさ～」
講師 海老原宏美様(NPO 法人 自立生活センター・東大和理事長、
人工呼吸器ユーザーの地域生活支援のために仲間と「呼ネット」副代表)
15:45～16:00 閉会式(表彰、講評、等)
- 9 審査員

社会福祉法人新潟県社会福祉協議会地域福祉課長 中原敦
子様
社会福祉法人新潟県視覚障害者福祉協会評議員（長岡音声訳の会） 遠藤直子
様
新潟県高等学校文化連盟ボランティア専門部副部長（加茂暁星高等学校副校長） 上杉
肇

10 記念講演講師プロフィール

海老原 宏美（えびはら ひろみ）様

1977年神奈川県川崎市生まれ。1歳半で脊髄性筋萎縮症（SMA）、3歳までの命と診断される。

小学校から高校まで地域の通常学級に進学し、01年3月に東洋英和女学院大学人間科学部を卒業。その後、韓国縦断野宿旅「日韓 TRY2001」で障害が重度化、02年より人工呼吸器を使い始める。01年より東京都東大和市で自立生活を開始し、自立生活センター東大和で障害者の地域生活に関わる権利擁護・相談支援活動等をはじめ。

現在、NPO法人 自立生活センター・東大和理事長、人工呼吸器ユーザーの地域生活支援のために仲間と「呼ネット」副代表、東大和市地域自立支援協議会会長、認定NPO法人DPI日本会議理事等を務める。

2015年に映画「風は生きよという」を企画・出演。同年「まあ、空気でも吸って」（現代書館）を母親と共著。2017年1月に東京都女性活躍推進大賞受賞。

好きなものは旅と日本酒。モットーは「できるかできないかではなく、やるかやらないか」。

11 参加種別

本大会への参加形態は、次の二種類があります。各校ごとに、どちらかを選び、参加申し込みの際にご連絡ください。

A 発表参加（表彰対象）； 活動報告書を提出し、大会第一部で口頭発表を行う。すべての学校が表彰され、優秀賞の中から全国総文参加校が推薦される。

*各校の活動を互いに知り合うために、できるだけ発表していただけることを
願い、この参加形態を推奨します。

B 傍聴参加（表彰対象外）； 発表はしないが大会には参加する。

*大会には参加したいが、発表するのは負担が重いという場合に、こちらを選ぶことができます。活動報告書はできるだけ提出していただきたいと思っておりますが、これも任意です。

12 口頭発表・活動報告書

(1)口頭発表： 「A 発表参加」校には、大会第一部において、各校（各部）の活動

状況を発表していただきます。持ち時間は各校(各部)5分程度(参加校数により増減あり、参加校確定後連絡します)、発表者は生徒で、人数は1～3名とします。口頭での発表を基本としますが、写真等の資料提示は自由です。(パソコン、スクリーン等の機材は用意します。USB等でデータをご持参ください。)

(2)活動報告書：別紙活動報告書(様式1)に必要事項を記載し、10月5日(金)までに、メールにて、印刷原稿の電子データを担当へお送りください。A4用紙1～2枚で、白黒印刷とします。提出していただいた報告書は、大会当日配布の部門プログラム、および年度末に発行するボランティア専門部の年報に掲載し、大会参加者や県内外のボランティア関係団体等に配布します。「B 傍聴参加」校も、できるだけ報告書は提出して下さるようお願いいたします。

13 表彰・全国総文推薦

(1)表彰：「A 発表参加」の学校(部)には、優秀賞または奨励賞を贈呈します。

- ・優秀賞：指定の活動報告書を提出し、本大会第一部で発表を行なった学校の中から、その内容が優秀な部・同好会に対して、優秀賞を贈呈します。
- ・奨励賞：指定の活動報告書を提出し、本大会第一部で発表を行なった学校で優秀賞受賞校を除くすべての部・同好会に奨励賞を贈呈します。

(2)全国総文推薦：優秀賞受賞校の中から、来年の第43回全国高等学校総合文化祭佐賀大会ボランティア部門(2019年7月27日～29日、有明スカイパークふれあい郷自有館・佐賀県白石町)への派遣校2校を推薦します。代表生徒各校2名分の旅費・宿泊費(高文連規定に準ずる額)を専門部より補助します。

担当 高文連ボランティア専門部委員長

新潟県立新潟西高等学校教諭 栗川治

〒950-2157 新潟市西区内野西が丘3-24-1

電話 025-262-1561(代)

FAX 025-261-3902

e-mail kurikawa.osamu@nein.ed.jp